NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を活用し、自らの生き方を主体的に考える生徒の育成

2．学校名

宮城県仙台市立鶴谷中学校

3．実践者名（代表者名）

校長　宗形文雄　以下全職員

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　350人（全校生徒）

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事から「生き方」を考える

7．目標(狙い)

自分の生き方を考える上で、様々な新聞記事から必要な情報を取捨選択し、そこから何かを学び取ろうとする主体的な姿勢を構築する。

8．評価の視点

・生き方を考えられるような記事を選択できたか。
・与えられた新聞記事から、自らの「生き方」につながるものを学び取っているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間の内、NIE活動（10単位時間）
毎月最終週の「朝の読書の時間」を利用（10分×5日）これを年間10回

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・教員と生徒のNIE委員が順番で、届けられている6紙の新聞から「生き方」を考えられるような記事を選び出す。
・プリントに貼り全校生徒分印刷して、「朝の読書の時間」に配る。
・生徒はこの記事を読み、自分の「生き方」につながるような感想や意見を書く。（10分間）
・感想のプリントは学級担任が回収し、評価するとともにコメントなどをそえて返す。
・返されたプリントはNIE用ファイルに綴じて保管する。
・最後の時間は事後アンケートに答えながら、一年間の活動を振り返る。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

提示された新聞記事にもよるが、最初は読むだけで精一杯で意見や感想を少ししかかけなかった生徒が、回数を経るごとに自分の考えをしっかり書けるようになった。生徒の感想にも「初めて新聞記事というものをじっくり読んだ」「事件や事故だけではないことがわかった」など新聞を再認識するものが多く見られた。

12．成果と課題

成果としては、新聞を自分の「生き方」を考えるための身近な資料になりうると再認識できたこと、自分の意見をまとめる文章力が身につくことなどが、あげられる。反面、課題としては、中学生には難解な語句が多く、読解力がないと内容が読み取れないこと、提示された記事によっては自分の考えをまとめるのが難しいものがあること、などがあげられる。来年度もこの活動を継続しながら、自分の「生き方」につなげ考えをまとめやすい新聞記事の選択を工夫し、よりねらいに迫る活動にしていきたい。